

平成26年度難治性疾患実用化研究事業(委託費)採択課題一覧

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&Dパイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 |
|--|--|-------------------------------|-------------|-----------------------------------|---------|
| | | 所属 | 氏名 | | 方法(案) |
| 希少難治性疾患に対する新たな医薬品等医療技術の実用化に関する研究(ステップ1)(24131201、25140201) | | | | | |
| 1 | 肝細胞増殖因子による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法開発 | 東北大学大学院医学系研究科 | 青木 正志 (1/3) | ○ | 拠点からの報告 |
| 2 | 小児重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation / recoveryを旨とした骨格筋芽細胞シートの開発と実践 | 大阪大学医学系研究科 | 澤 芳樹 | ○ | 拠点からの報告 |
| 3 | プリオン病に対する低分子シャペロン治療薬の開発 | 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 | 桑田 一夫 | ○ | サイトビジット |
| 4 | ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するビルビン酸ナトリウム治療法の開発研究—試薬からの希少疾病治療薬開発の試み— | 久留米大学医学部 | 古賀 靖敏 | ○ | ヒアリング |
| 5 | 家族性LCAT欠損症患者に対する細胞加工医薬品「LCAT遺伝子導入ヒト前脂肪細胞」の早期実用化にむけた非臨床試験 | 千葉大学大学院医学研究院(東邦大学医療センター佐倉病院) | 武城 英明 | ○ | 拠点からの報告 |
| 6 | 中性脂肪蓄積心筋血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 平野 賢一 | ○ | 拠点からの報告 |
| 7 | 網膜色素変性治療をめざした経強膜ウノプロストン徐放法の開発 | 東北大学大学院医学系研究科 | 阿部 俊明 | ○ | 拠点からの報告 |
| 8 | VCP阻害剤を用いた眼難治疾患に対する新規治療法開発 | 京都大学大学院 | 池田 華子 | ○ | 拠点からの報告 |
| 9 | 重症拡張型心筋症患者の生命予後改善・人工心臓離脱を旨とした新規オキシム誘導体徐放性製剤による体内誘導型再生治療法の開発と実践 | 大阪大学大学院 | 宮川 繁 | ○ | 拠点からの報告 |
| 10 | 抗菌活性・創修復作用を有する新規ペプチドを用いた遺伝的早老症患者の難治性潰瘍治療薬の開発 | 大阪大学 | 中神 啓徳 | ○ | 拠点からの報告 |
| 11 | 難治性潰瘍性大腸炎を対象とした医師主導治験のためのアドレノメデュリン製剤の作成 | 宮崎大学 | 北村 和雄 | ○ | ヒアリング |
| 12 | 小児期発症脊髄性筋萎縮症に対するバルプロ酸ナトリウム多施設医師主導治験準備研究 | 東京女子医科大学 | 斎藤 加代子 | ○ | サイトビジット |
| 希少難治性疾患に対する新たな医薬品等医療技術の実用化に関する研究(ステップ1)(26310101) | | | | | |
| 13 | 特発性大腿骨頭壊死症におけるbFGF含有ゼラチンハイドロゲルによる壊死骨再生治療の開発 | 岐阜大学医学研究科 | 秋山 治彦 | ○ | サイトビジット |
| 14 | 表皮水疱症に対する新たな医薬品の実用化に関する研究 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 玉井 克人 | ○ | 拠点からの報告 |
| 15 | 新規作用機序の多発性硬化症治療薬の開発 | 東北大学大学院医学研究科 | 宮田 敏男 | ○ | 拠点からの報告 |
| 16 | ALSに対する新規治療技術の創出 | 東京大学医科学研究所 | 山梨 裕司 | ○ | 拠点からの報告 |
| 17 | 神経難病治療薬OCH-NCNPの炎症性腸疾患を対象とした医師主導治験へ向けた製剤確保、治験プロトコル作成、治験相談の実施 | 慶應義塾大学医学部 | 金井 隆典 | ○ | 拠点からの報告 |
| 18 | 多系統萎縮症の治療法開発研究 | 東京大学医学部附属病院 | 辻 省次(1/2) | ○ | 拠点からの報告 |
| 希少難治性疾患に対する新たな医薬品等医療技術の実用化に関する研究(ステップ2)(24131301、25140301) | | | | | |
| 19 | 希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN011)に関する医師主導治験の実施研究 | (独) 国立病院機構新潟病院 神経内科 | 中島 孝 | ○ | サイトビジット |
| 20 | 多発性硬化症の新規免疫調節薬を検証する医師主導治験 | (独) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部 | 山村 隆 (1/2) | ○ | サイトビジット |
| 21 | 結節性硬化症の皮膚病変に対する有効で安全性の高い治療薬の開発と実用化 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 金田 眞理 | ○ | 拠点からの報告 |
| 22 | 重症肺高血圧症の予後と生活の質を改善するための安心安全のナノ医療製剤(希少疾病用医薬品)の実用化臨床試験 | 九州大学大学院医学研究院先端医療研究開発学 | 江頭 健輔 | ○ | 拠点からの報告 |
| 23 | リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験 | 新潟大学医歯学総合病院 | 中田 光 | ○ | サイトビジット |

平成26年度難治性疾患実用化研究事業(委託費)採択課題一覧

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&Dパイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 |
|---|---|---------------------------|-----------------|-----------------------------------|---------|
| | | 所属 | 氏名 | | 方法(案) |
| 24 | ミトコンドリア脳筋症MELASの脳卒中様発作に対する タウリン療法の開発 | 川崎医科大学医学部神経内 科学 | 砂田 芳秀 | ○ | ヒアリング |
| 25 | 難治性潰瘍を伴う強皮症、混合性結合組織病、全身性 エリテマトーデスに対する低出力体外衝撃波治療法 | 東北大学大学院医学系研究 科 | 石井 智徳 | ○ | 拠点からの報告 |
| 26 | 先天性高インスリン血症に対するオクトレオチド持続 皮下注射法の有効性・安全性に関する研究 | 大阪市立総合医療センター 小児代謝・内分泌科 | 依藤 亨 | ○ | ヒアリング |
| 27 | HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化 に向けた開発 | 聖マリアンナ医科大学 | 山野 嘉久 (1/2) | ○ | サイトビジット |
| 28 | 血栓性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブの第 II相医師主導治験 | 慶應義塾大学(埼玉医科大 学) | 宮川 義隆 | ○ | 拠点からの報告 |
| 29 | 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を 検証する第2/3相 多施設共同プラセボ対照無作為化 試験 | 国立病院機構宇多野病院 | 田原 将行 | ○ | サイトビジット |
| 30 | 遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の 薬物動態の検討及び第2/3相試験 | 東北大学大学院 | 青木 正志 (2/3) | ○ | 拠点からの報告 |
| 31 | 重症多型滲出性紅斑眼障害の克服に向けた新規医療器 具の開発 | 京都府立医科大学 | 外園 千恵 | ○ | サイトビジット |
| 希少難治性疾患に対する新たな医薬品等医療技術の実用化に関する研究(ステップ2)(26310201) | | | | | |
| 32 | 角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞 シート移植の医師主導治験 | 大阪大学大学院医学系研究 科 | 西田 幸二 | ○ | 拠点からの報告 |
| 33 | 内転性痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲 状軟骨形成術2型の効果に関する研究 | 熊本大学医学部付属病院 | 讃岐 徹治 | ○ | サイトビジット |
| 34 | 多発性筋炎・皮膚筋炎へのTK-98薬事承認に向けた研究 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総 合研究科 | 上阪 等 | ○ | サイトビジット |
| 革新的な医薬品等の開発を促進させる研究(26310301) | | | | | |
| 35 | 難治性神経変性疾患に対する神経シナプス形成を促進さ せるマイクロRNAの補充による新規治療法の開発と確立 | (独)国立精神・神経医療研究 センター | 北條 浩彦 | ○ | サイトビジット |
| 36 | 治療薬が現存しない先天性中枢神経脱髄疾患の独自の病 態モデルを作成し、その治療標的分子を探索する研究に向 けて | (独)国立成育医療研究セン ター | 山内 淳司 | ○ | 拠点からの報告 |
| 37 | ゲノム解析技術および疾患特異的iPS細胞を用いた心筋症 に対する革新的な医薬品開発研究 | 東京大学大学院医学系研究 科 | 小室 一成 (濱田純一) | ○ | 拠点からの報告 |
| 38 | 慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患に対する革 新的治療薬を実現するための独創的開発基盤 | (独)国立成育医療研究セン ター | 藤原 成悦 | ○ | 拠点からの報告 |
| 39 | 神経筋疾患の原因究明および革新的治療法開発に関する 研究 | 鹿児島大学 | 高嶋 博 | ○ | ヒアリング |
| 40 | 重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットに した新規治療薬開発 | 北海道大学医学研究科 | 阿部 理一郎 | ○ | 拠点からの報告 |
| 41 | 稀少小児遺伝性血液疾患に対する新規責任遺伝子の探索 と遺伝子診断システムの構築に関する研究 | 名古屋大学大学院医学系研 究科 | 小島 勢二 | ○ | 拠点からの報告 |
| 42 | プリオン病の予防治療薬開発促進研究 | 東北大学医学部 | 堂浦 克美 | ○ | 拠点からの報告 |
| 43 | 筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病 態解明 | 東北大学大学院医学系研究 科 | 青木 正志(3/3) | ○ | 拠点からの報告 |
| 44 | 二次進行型多発性硬化症に対する革新的な医薬品の開発 を促進させる研究 | (独)国立精神・神経医療研究 センター | 山村 隆(2/2) | ○ | サイトビジット |
| 45 | 先天性インプリント異常症におけるメチル化体外診断薬の 実用化と生殖補助医療の影響 | 東北大学大学院医学研究科 | 有馬 隆博 | ○ | 拠点からの報告 |
| 46 | 高IgE症候群の病因・病態解明と新規治療法開発 | 徳島大学疾患プロテオゲノム研 究センター | 峯岸 克行 | ○ | ヒアリング |

平成26年度難治性疾患実用化研究事業(委託費)採択課題一覧

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&Dバイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 方法(案) |
|-----|--|--------------------|-----------------|-----------------------------------|---------------|
| | | 所属 | 氏名 | | |
| 47 | 結節性硬化症における自閉症スペクトラム障害のmTOR阻害剤を用いた薬物治療に関する研究 | 公益財団法人東京都医学総合研究所 | 佐藤 敦志 | ○ | ヒアリング |
| 48 | 遺伝性髄鞘形成不全の病態に基づく革新的な治療法の開発のための研究 | (独)国立精神・神経医療研究センター | 井上 健 | ○ | サイトビジット |
| 49 | 神経筋接合部・骨格筋の興奮伝達障害の病態解明と治療法開発研究 | 名古屋大学大学院医学系研究科 | 大野 欽司 | ○ | 拠点からの報告 |
| 50 | プリオノイド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の治療法開発 | (独)国立精神・神経医療研究センター | 永井 義隆 | ○ | サイトビジット |
| 51 | 自己免疫疾患のイノベーション研究 | 筑波大学医学医療系内科 | 住田 孝之 | ○ | ヒアリング |
| 52 | IL-36RN欠損症としての膿疱性乾癬に対する革新的医薬品の開発に向けた病態解明と診療(診断及び治療)ガイドラインの作成 | 名古屋大学大学院医学系研究科 | 杉浦 一充 | ○ | 拠点からの報告 |
| 53 | 細胞内シグナル伝達異常による先天奇形症候群の病態解明と治療法開発の研究 | 東北大学 | 青木 洋子 | ○ | 拠点からの報告 |
| 54 | 健康寿命の延伸、重症化遅延を目指した早老症治療薬の創出 | 東北大学大学院医学研究科 | 宮田 敏男(2/2) | ○ | 拠点からの報告 |
| 55 | 疾患特異的iPS細胞を活用した特異性造血障害の病態解析と新規治療法開発 | 京都大学医学研究科 | 高折 晃史 | ○ | 拠点からの報告 |
| 56 | 特異性大腿骨頭壊死症の治療法確立と革新的予防法開発にむけた全国学際研究 | 九州大学大学院医学研究院 | 岩本 幸英 | ○ | 拠点からの報告 |
| 57 | 疾患特異的iPS細胞を用いた球脊髄性筋萎縮症の病態解析と新規治療法の開発 | 愛知医科大学 | 岡田 洋平 | ○ | ヒアリング |
| 58 | HAMの革新的な医薬品等の開発促進に関する研究 | 聖マリアンナ医科大学 | 山野 嘉久(2/2) | ○ | サイトビジット |
| 59 | 視神経脊髄炎動物モデル作成によるテラーメード治療の確立 | 大阪大学 | 熊ノ郷 淳 | ○ | 拠点からの報告 |
| 60 | ジストニアの分子病態解明と新規治療法開発 | 徳島大学大学院 | 梶 龍兒 (香川征) | ○ | ヒアリング |
| 61 | 色素性乾皮症のiPS細胞を用いた病態解明と治療法の開発 | 神戸大学大学院医学研究科 | 錦織 千佳子 | ○ | ヒアリング |
| 62 | 次世代シーケンサーを用いた孤発性の神経難病の発症機構の解明と治療法開発に関する研究 | 神戸大学大学院医学研究科 | 戸田 達史 | × | ヒアリング |
| 63 | インプリンティング異常症および合併症発症メカニズムの解明:患者由来iPS細胞を用いての研究 | (独)国立成育医療研究センター | 鏡 雅代 | ○ | 拠点からの報告 |
| 64 | パーキンソン病患者由来iPS細胞を中心とする多面的疾患モデルに立脚した革新的医薬品の開発 | 京都大学大学院医学研究科 | 高橋 良輔 | ○ | 拠点からの報告 |
| 65 | ヒルシュブルング病及び類縁疾患の幹細胞を用いた病因病態解明と新規治療法の開発 | 九州大学大学院医学研究院 | 田口 智章 (有川節夫) | ○ | 拠点からの報告 |
| 66 | 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 | 熊本大学大学院生命科学研究部 | 尹 浩信 | ○ | サイトビジット |
| 67 | 新規BAFF受容体阻害剤を用いたシェーグレン症候群の革新的治療薬の開発 | 慶應義塾大学医学部 | 竹内 勤 | ○ | 拠点からの報告 |
| 68 | 原発性免疫不全症候群の病態解明と新規治療法開発への応用に関する研究 | 防衛医科大学校 | 野々山 恵章 | ○ | ヒアリング |
| 69 | 遺伝子変異に基づくFMFインフラマソーム病態解明と炎症制御に向けたトランスレーショナル研究 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 | 川上 純 | ○ | サイトビジット |
| 70 | エピジェネティック稀少疾患の治療に向けた研究および原因未解明な稀少疾患に対する解析技術展開研究 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 | 吉浦 孝一郎 | ○ | サイトビジット |
| 71 | ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患群の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明研究 | 長崎大学原爆後遺症医療研究所 | 荻 朋男 | ○ | サイトビジット |

平成26年度難治性疾患実用化研究事業(委託費)採択課題一覧

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&Dパイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 |
|----------------------|--|------------------------|--------------|-----------------------------------|---------|
| | | 所属 | 氏名 | | 方法(案) |
| 72 | ドラッグリポジショニングによる神経線維腫症1型の進行阻止薬の開発 | 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター | 小崎 健次郎 | ○ | 拠点からの報告 |
| 73 | マルファン症候群及び類縁疾患についての治療薬剤スクリーニングとモデル動物を用いた評価に関する調査研究 | (独)国立循環器病研究センター | 森崎 隆幸 | ○ | 拠点からの報告 |
| 74 | Dravet (ドラベ)症候群患者由来iPS細胞を用いた認可医薬品スクリーニングによる革新的な医薬品開発のシーズ探索研究 | 福岡大学医学部 | 廣瀬 伸一 | ○ | ヒアリング |
| 75 | 多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明 | 九州大学大学院医学研究院 | 吉良 潤一 | ○ | 拠点からの報告 |
| 76 | ゲノム構造異常によって発症した自閉症・発達障害の疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明と治療法開発 | 東京女子医科大学総合医科学研究所 | 山本 俊至 | ○ | サイトビジット |
| 77 | 難治性てんかんを呈する希少疾患群の遺伝要因と分子病態の解明 | 山形大学医学部附属病院 | 加藤 光広 | ○ | ヒアリング |
| 78 | 後縦靭帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究 | 慶應義塾大学医学部 | 松本 守雄 | ○ | 拠点からの報告 |
| 79 | 後天性凝固異常症のP.O.C.テストによる迅速診断システムの開発 | 山形大学医学部 | 一瀬 白帝 | ○ | ヒアリング |
| 80 | プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究 | 金沢大学医薬保健研究域医学系 | 山田 正仁 | ○ | ヒアリング |
| 81 | 自己炎症性疾患の治療標的分子の同定および薬剤開発基盤の整備 | 京都大学大学院医学研究科 | 平家 俊男 | ○ | 拠点からの報告 |
| 82 | 新規治療標的分子LRGの炎症性腸疾患における役割の解明と創薬への応用 | (独)医薬基盤研究所創薬基盤研究部 | 仲 哲治 | ○ | ヒアリング |
| 83 | クロマチンリモデリング因子ATRXタンパクの異常により発症するX連鎖αサラセミア/精神遅滞症候群のアミノレプリン酸による治療法の開発 | 京都大学大学院医学研究科 | 和田 敬仁 | ○ | 拠点からの報告 |
| 84 | 脊髄性筋萎縮症患者細胞により新たに同定した薬剤候補によるiPS細胞を用いた非臨床試験及び薬剤臨床試験準備研究 | (独)国立病院機構長良医療センター臨床研究部 | 船戸 道徳 | ○ | ヒアリング |
| 85 | 独自の体外病態モデルによる難治性炎症性腸疾患の革新的治療薬開発に関する研究 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 | 渡辺 守 | ○ | サイトビジット |
| 86 | 運動失調症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班 | (独)国立精神・神経医療研究センター病院 | 水澤 英洋 | ○ | サイトビジット |
| 診療の質を高める研究(26310401) | | | | | |
| 87 | 性分化・性成熟領域38疾患の診療ガイドライン作成に向けた遺伝子診断法の確立 | (独)国立成育医療研究センター | 深見 真紀 () | ○ | 書面調査 |
| 88 | 新生児タンデムマススクリーニング対象疾患の診療ガイドライン改訂、診療の質を高めるための研究 | 岐阜大学大学院医学系研究科 | 深尾 敏幸 | × | 書面調査 |
| 89 | IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究 | 京都大学医学研究科 | 三森 経世 | ○ | 書面調査 |
| 90 | 先天性GPI欠損症の診療ガイドラインの整備と病態解析及び治療法の開発 | 大阪大学微生物病研究所 | 村上 良子 | ○ | 書面調査 |
| 91 | 難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索 | 岩手医科大学内科学講座 | 松本 主之 | ○ | 書面調査 |
| 92 | 原発性リンパ浮腫ガイドライン改訂のための患者評価票の開発と複合的理学療法評価に関する研究 | 旭川医科大学医学部 | 齋藤 幸裕 | × | 書面調査 |
| 93 | 小児とAYA世代の増殖性血液疾患の診断精度向上と診療ガイドラインの改訂のための研究 | 群馬県立小児医療センター | 林 泰秀 | ○ | 書面調査 |
| 94 | 免疫性ニューロパシーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築 | 近畿大学医学部 | 楠 進 | ○ | 書面調査 |
| 95 | 先天性リンパ管疾患の診療指針作成及び病理・細胞生物学的知見の臨床応用へ向けた研究 | 慶應義塾大学医学部 | 藤野 明浩 | ○ | 書面調査 |

平成26年度難治性疾患実用化研究事業(委託費)採択課題一覧

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&Dパイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 方法(案) |
|--|---|-------------------------------|-----------------|-----------------------------------|---------------|
| | | 所属 | 氏名 | | |
| 96 | シャルコー・マリー・トウス病の診療向上に関するエビデンスを構築する研究 | 京都府立医科大学大学院医学研究科 | 中川 正法 | × | 書面調査 |
| 97 | ミトコンドリア病診療の質を高める、レジストリシステムの構築、診断基準・診療ガイドラインの策定および診断システムの整備を行う臨床研究 | 千葉県がんセンター | 村山 圭 | ○ | 書面調査 |
| 98 | HTLV-1陽性難治性疾患の診療の質を高めるためのエビデンス構築 | 宮崎大学医学部 | 岡山 昭彦 | × | 書面調査 |
| 99 | 毛細血管拡張性小脳失調症およびDNA損傷修復異常を基盤とするその類縁疾患の病態解明・診断法の確立及び治療法の開発に関する研究 | 東京医科歯科大学 | 高木 正稔 | ○ | 書面調査 |
| 100 | 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ(PKD)の発症メカニズムの解明及び新規治療薬の開発 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 | 黒滝 直弘 | ○ | 書面調査 |
| 101 | 重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略 | 福井大学医学部 | 藤枝 重治 | × | 書面調査 |
| 102 | 肺胞蛋白症、遺伝性間質性肺疾患に関する研究:重症難治化要因とその克服 | (独)国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター | 井上 義一 | ○ | 書面調査 |
| 103 | びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究 | 東邦大学医学部 | 本間 栄 | × | 書面調査 |
| 104 | 門脈血行異常症に関する調査研究 | 久留米大学医学部 | 鹿毛 政義 | × | 書面調査 |
| 疾患群毎の集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究(遺伝子拠点研究)(26310501) | | | | | |
| 105 | 神経疾患の集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究 | 東京大学医学部附属病院 | 辻 省次(2/2) | ○ | 拠点からの報告 |
| 106 | 遺伝性ミオパチーの次世代型統合的診断拠点形成 | (独)国立精神・神経医療研究センター | 西野 一三 (樋口輝彦) | × | サイトビジット |
| 107 | 小児科・産科領域疾患の大規模遺伝子解析ネットワークとエピゲノム解析拠点整備 | 独立行政法人国立成育医療研究センター | 松原 洋一 | ○ | 拠点からの報告 |
| 108 | 遺伝性難治性疾患の網羅的遺伝子解析拠点研究 | 横浜市立大学医学研究科 | 松本 直通 | ○ | ヒアリング |
| 109 | 遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究 | 大阪大学大学院医学研究科 | 高島 成二 | ○ | 拠点からの報告 |
| 110 | 集約的オミックス解析による難病の原因究明と疾患別遺伝子診断ネットワークの構築 | 京都大学大学院医学研究科 | 松田 文彦 | ○ | 拠点からの報告 |
| 生体試料の収集と活用による病態解明を推進する研究(生体試料バンク)(26310601) | | | | | |
| 111 | 孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究 | 名古屋大学大学院医学系研究科 | 祖父江 元 | ○ | 拠点からの報告 |
| 112 | 遺伝性網脈絡膜疾患の生体試料の収集・管理・提供と病態解明 | (独)国立病院機構東京医療センター 臨床研究センター | 岩田 岳 | ○ | ヒアリング |

開発研究以外の課題

9

平成26年度 腎疾患実用化研究事業 採択課題一覧表

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&D/パイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 方法(案) |
|---------------------------|---|-------------------------------------|-------|------------------------------------|---------------|
| | | 所属 | 氏名 | | |
| 平成26年度 腎疾患実用化研究事業 採択課題一覧表 | | | | | |
| 113 | 慢性腎不全診療最適化による新規透析導入減少実現のための診療システム構築に関する研究 | 筑波大学医学医療系 臨床医学域腎臓内科学 | 山縣 邦弘 | × | ヒアリング |
| 114 | 糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止にむけた調査・研究 | 金沢大学 腎臓内科 | 和田 隆志 | ○ | ヒアリング |
| 115 | IgA腎症新規バイオマーカーを用いた血尿の2次スクリーニングの試み | 順天堂大学医学部腎臓内科 | 鈴木 祐介 | × | ヒアリング |
| 116 | 糖尿病性腎症の糖鎖プロファイリングによる新規バイオマーカーの同定 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 和田 淳 | ○ | ヒアリング |
| 117 | WNKキナーゼをターゲットとしたCKD進展阻止のための新規治療薬の開発 と最適降圧薬選択法の確立 | 東京医科歯科大学 腎臓内科学 | 内田 信一 | ○ | ヒアリング |
| 118 | 新規消化管ペプチドグレリンによる慢性腎臓病新規治療戦略の確立 | 慶應義塾大学腎臓内 分泌代謝内科 | 伊藤 裕 | ○ | ヒアリング |
| 119 | 特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病(CKD)地域医療連携システムの制度設計 | 福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧・糖尿病内 分泌代謝内科 | 渡辺 毅 | × | ヒアリング |
| 120 | 慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発 | | 成田 一衛 | ○ | ヒアリング |

開発研究以外の課題

3

平成26年度 慢性の痛み研究事業 採択課題一覧表

| No. | 課題名 | 研究代表者 | | 開発研究 (R&D/パイプライン管理 システムへの入力) | 進捗管理 方法(案) |
|---------------------------------------|---|----------------|--------|------------------------------------|---------------|
| | | 所属 | 氏名 | | |
| 平成26年度 慢性の痛み解明研究事業 採択課題 | | | | | |
| 121 | 慢性疼痛のトランスレーショナルリサーチー精神心理学的・神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発ー | 九州大学病院 | 細井 昌子 | × | ヒアリング |
| 122 | 診断・治療法の開発を目指した痛みの慢性化脳機構に関するトランスレーショナル研究 | 東京慈恵会医科大学 | 加藤 総夫 | × | ヒアリング |
| 123 | 慢性疼痛に対する画期的核酸医薬の開発 | 東京医科歯科大学大学院 | 横田 隆徳 | ○ | ヒアリング |
| 124 | 自律神経障害性疼痛の診断基準作成と新規治療法を開発するための研究 | 信州大学医学部 | 池田 修一 | × | ヒアリング |
| 125 | 慢性通に対する認知行動療法の普及と効果解明に関する研究 | 大阪大学 医学系研究科 | 柴田 政彦 | ○ | ヒアリング |
| 126 | 遠位筋痛症の病因・病態の解明と客観的診断・評価法の開発及びトータルマネジメントの確立に関する戦略的総合研究 | 東京医科大学 医学部 | 松本 美富士 | × | ヒアリング |

開発研究以外の課題

4

疾病対策課関連事業 進捗管理班会議 議事次第

1. 日 時：平成 26 年 10 月 30 日 (木) 13:00～17:00
2. 場 所：京都大学東京オフィス 会議室 1
3. 出席者：葛原茂樹先生、宮坂信之先生、渡邊裕司先生、堺秀人先生、眞下節先生、牛田享宏先生、松倉遊課長補佐、前田彰久課長補佐、武村真治研究事業推進官、福島雅典 【遅れてのご出席】宮坂先生、牛田先生、武村先生
【欠席】相川厚先生
(事務局) 西村秀雄、湯川明子、栗田加奈子、蔵本弘美

(順不同)

4. 議 題：

(0) 厚生労働省 疾病対策課、研究の総括よりご挨拶

(1) 進捗管理 (PDCA) 法の検討

- ・ PDCA 案のご提案 (資料 1-1) * 更新版
- ・ 課題一覧 (PDCA 案) 表 (資料 1-2)
- ・ 課題調査票：全 126 課題 (資料 1-3)
- ・ 発表要領案 (資料 1-4)
- ・ マイルストンの設定の仕方 (資料 1-5)
- ・ AMED の 9 プロジェクトについて + PPT (資料 1-6)
- ・ ホームページについて (資料 1-7)
- ・ 2015・2・14 プリオン病シンポジウム (資料 1-8)
- ・ 日程調整表 (資料 1-9)
- ・ 武村先生より参考資料 (資料 1-10)

(2) R&D パイプライン管理システム

- ・ システムの入力項目：基本情報票 (資料 2-1)
- ・ システムの利用依頼文 (資料 2-2)

(3) 研究成果報告会プログラム案

- ・ プログラム案 (資料 3-1)
- ・ 全 126 課題の分類 (資料 3-2) * 更新版
- ・ Keynote Lecture - Dr Petra Kaufmann (NCATS) (資料 3-3)
- NCATS ORDR (Office of Rare Diseases Research)
- The Rare Diseases Clinical Research Network (RDCRN)

5. 資 料：

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 資料 1-1 | 進捗管理 (PDCA) : 案 |
| 資料 1-2 | 進捗管理 (PDCA) : 課題一覧表 |
| 資料 1-3 | 進捗管理 (PDCA) : 課題調査票 |
| 資料 1-4 | 進捗管理 (PDCA) : 発表要領案 |
| 資料 1-5 | 進捗管理 (PDCA) : マイルストンの設定 |
| 資料 1-6 | 進捗管理 (PDCA) : AMED の 9 プロジェクト |
| 資料 1-7 | 進捗管理 (PDCA) : ホームページ |
| 資料 1-8 | 進捗管理 (PDCA) : プリオン病シンポジウム |
| 資料 1-9 | 進捗管理 (PDCA) : 日程調整表 |
| 資料 1-10 | 進捗管理 (PDCA) : 武村先生参考資料 |
| 資料 2-1 | R&D パイプライン管理システム : 基本情報票 |

2014.10.30
Ver1.1

資料 2-2 R&D パイプライン管理システム：利用依頼文
資料 3-1 研究成果報告会：プログラム案・126 課題の分類
資料 3-2 研究成果報告会：難治性重点研究の内、治験（見込み含む）に入った課題
資料 3-3 研究成果報告会：NCATS Dr Petra Kaufmann, ORDR, RDCRN の情報

以上

疾病対策課関連課題の PDCA (案)

1. サイトビジット 24 課題

【メンバー：難治性 PD/PO の内 1 名、武村先生、疾病対策課、事務局】

(難治性疾患実用化研究の内、拠点以外で複数の課題がある施設を中心に選定 各課題 10 分発表)

- なるべく同日の開催とする
- 1) 新潟大学：1 課題 (S2_中田光、腎_成田一衛)
 - 2) 新潟病院：1 課題 (S2_中嶋孝)
 - 3) 聖マリアンナ医科大学：2 課題 (S2・革_山野嘉久)
 - 4) 東京女子医科大学：2 課題 (S1_斎藤加代子、革_山本俊至)
 - 5) 東京医科歯科大学：3 課題
(S2_上阪等、革_渡辺守、革_水澤英洋、診_高木正稔、腎_内田信一、痛_横田隆徳)
 - 6) 国立精神・神経研究センター：6 課題
(S2・革_山村隆、革_北條浩彦、革_井上健、革_永井義隆、遺_西野一三)
 - 7) 岐阜大学：2 課題 (S1_桑田一夫、S1_秋山治彦、診_深尾敏幸)
 - 8) 京都府立医科大学：1 課題 (S2_外園千恵、診_中川正法)
 - 9) 宇多野病院：1 課題 (S2_田原将行)
 - 10) 長崎大学：3 課題 (革_川上純、革_吉浦孝一郎、革_荻朋男、診_黒滝直弘)
 - 11) 熊本大学：2 課題 (S2_讃岐徹治、革_尹浩信)

2. ヒアリング 53 課題【メンバー：各事業 PD/PO、疾病対策課、事務局】

(各 PD の下に集合 各課題 10 分発表)

- 1) 腎疾患実用化研究事業 8 課題：相川先生 (東邦大学)
- 2) 慢性の痛み解明研究事業 6 課題：眞下先生 (市立豊中病院)
- 3) 難治性疾患実用化研究事業 21 課題 (サイトビジットと拠点報告以外)：
葛原先生 (鈴鹿医療科学大学)
- 4) 診療の質向上研究 18 課題：葛原先生 (鈴鹿医療科学大学)

3. 戦略会議 12 課題 (他と重複)【メンバー：難治性 PD/PO、疾病対策課、事務局】

(TRI に集合 4. と同日開催 各課題 10 分発表)

- 1) 遺伝子拠点研究 6 課
- 2) 生体試料バンク 2 課題
- 3) プリオン 4 課題 (2015 年 2 月 14 日プリオン病シンポジウムにてセッションを設ける事を検討)

4. <厚労省・文科省拠点分>拠点管理者・主任研究者からの報告 49 課題 (拠点数 13)

(TRI に集合 3. と同日開催 各課題 10 分発表)

- 1) 難治性疾患実用化研究事業 49 課題

※上記全てにおいて、課題の発表は別紙発表要領 (案) に従い 10 分での発表をしていただく。

※2.以下は可能な限り年内の開催を目指す。